

河川の水質汚濁と浄化 についての考えは

答弁: 合併処理浄化槽への転換や維持管理の徹底について、市報等により意識啓発に努めてまいります。

河川の水質浄化

小林 信雄 議員

小林 羽生市街地内にある地点から10km下流の加須市の道橋までと、さらに下流の久喜市と幸手市境にある御幸橋までは埼玉県生活排水地域重点地域となっております。水質汚染度は、上流と下流の市境の比較をすることで目安になるとは思います。BODの値についてお伺いします。また、浄化槽整備区域では、合併処理浄化槽への転換促進と維持管理の徹底により水質が改善されますが、合併処理浄化槽への転換の取り組みについてお伺いします。

いほごきれいな水として判断されます。平成29年2月の調査では、中川では、羽生市境5・9に対し、大利根地域古門樋橋では、6・7、会の川では、串作16・4に対し葛西用水との合流点4・8となっており、河川周辺の排水状況、天候などにより数値は変化します。一概に原因とは言えません。現在、合併処理浄化槽の普及率は44・4%ですが転換や維持管理の徹底は、周辺河川などの公共水域の水質の向上と環境保全につながるものであるため、今後も市報やホームページの活用、戸別訪問の実施により意識啓発に努めてまいります。

コミュニティバスの運行 改善についての考えは

答弁: 一定の運行ルールの範囲内において、北エリアを利用する方の利便性の向上について、検討してまいります。

コミュニティバス

及川 和子 議員

及川 コミュニティバス運行の目的は、高齢者、交通弱者の病院、公共施設等への移動手段を確保し、公共交通の維持、充実を図ることです。しかし、北川辺地域、北エリアの状況はこの目的に対して極めて不十分だと思っております。地域にはない耳鼻咽喉科、眼科などの医療機関に乗り換えなしで通院できるようにして欲しいという住民の声や、利便性に沿った運行改善を図ることについての考えをお伺いします。

間の制限がある中で、送迎場所によっては送迎できる人数が少なくなってしまうことから、遠方のエリア外乗り入れポイントの追加は現在考えておりません。ただし、送迎時間の制約の中で対応できるような北エリアから比較的近い場所につきましましては、エリア外乗り入れポイントの増加など、北エリアの利便性の向上について、検討してまいります。また、今後、状況に様々な変化が生じれば、最適な制度となるよう、必要な改善を図ってまいります。

加須市の目指す幼稚園 教育は

答弁: 来年度「保育所保育指針」と「幼稚園教育要領」が改訂されることを踏まえて、本市の教育がさらに充実するよう進めてまいりたいと考えております。

幼稚園教育

中條 恵子 議員

中條 加須市子ども・子育て支援計画が平成27年3月に策定されており、その基本理念は子どもを産み育てることに喜びを実感できるまちづくりとしています。一人の子どもに対する幼児教育を考えると、保護者などの状況により、保育所と幼稚園、施設は違っても小学校入学前までの保育が等しく受けられるべきであると思えます。加須市の幼稚園教育とはどのような教育を目指しているのかお伺いします。

来年度、保育所と幼稚園の保育内容が一層歩み寄り、小学校への連携をさらに深めることを目的として、「保育所保育指針」と「幼稚園教育要領」が改訂されます。そのことを踏まえて、教育がさらに充実するよう進めてまいりたいと考えております。

三世代ふれあい家族応援 事業への考えは

答弁: 人口減少に対応した様々な事業を総合的に展開する必要があると考えております。

定住化の促進

松本 英子 議員

松本 人口減少に歯止めがかかりません。20年後の新成人は3割から6割も減少することになりそうです。市は子育て支援や高齢者の安心な暮らし、親・子・孫の三世代での定住化促進のため、「三世代ふれあい家族応援事業」を推進しております。そのためのリフォーム改修工事に市内業者を利用すれば補助金が上乗せされ、地域経済の活性化になります。アンケートも実施されます。実りある事業にするための考えをお伺いします。

この事業は、核家族化の流れを変える一つの方策であると同時に、雇用効果、転入人口、定住化人口の増加という効果も期待して、導入したところでございます。今後は、本事業を利用した家族に直接会って話を伺うことで、住みよいまちづくりのヒントが得られるものと考えております。3年という期間限定の事業ですが、効果を判断しながら期間の延長もあろうかと思っております。いずれにしても、この施策も含めて、人口減少に対応した様々な事業を総合的に展開する必要があると考えております。